

中・東欧研究会の発足

本年4月より中欧および東欧に関する研究会を立ち上げることにいたしました。旧ソ連東欧の西部地域は、多重に入り組んだ言語文化状況、バルカン諸国のEU加盟、あるいは今次のクリミア半島情勢にみるがごとく、まことに複雑な様相を呈しております。また本研究センターが「スラブ・ユーラシア研究センター」へと改称され、新たなスタートを切るにあたり、中・東欧研究のさらなる充実をめざして、諸先輩の学知を仰ぐと同時に、若手と学び合う、広く開かれた研究会を組織することをめざします。皆様の研究発表とご参加を募ります。

世話人 家田修、野町素己、森下嘉之



第一回は岩本由輝東北学院大学名誉教授をお招きして、資料解説を講じていただきます。主として日本史を専門に執筆して来られた岩本先生ですが、資料の誤読や改ざんが社会に及ぼす実害を、また学者の倫理観と責任を、実証的に語ってくださいます。東日本大震災では、過去の災害記録を学者が「科学的に」矮小化したため、被害を一層大きくしたことを、文献によって講義して下さいます。岩本先生の軽妙洒脱な名講義は定評のあるところですので、ふるってご参加ください。

我われの専門とする中・東欧研究においても、避けえなかったとはいえない性質の誤読、虚偽の註、先行研究の軽視等、実際の反省例が一度ならずありました。岩本先生に学び、自らを顧みつつ一層の研鑽を積み、研究の質を高めるために切磋琢磨してゆこうではありませんか。

第一回

「文献解説をめぐる諸問題、東京電力福島第一原発の建設と『慶長津波』の矮小化」

講師 岩本由輝氏

二〇一四年四月

一三日(日)

午後二〜四時

スラブ・ユーラシア

研究センター四階

大会議室にて

ニーデルハウゼル博士著
『東欧ロシア史学史』輪読会
第一回「ポーランド」の章
4月24日(木)16時より
場所 SRC 405号室